

# 永田小学校かめんこ留学制度実施要綱

永田小学校かめんこ留学制度実施委員会

## 1 目 的

この制度は、永田小学校に入学又は転学を希望する児童に対し、校区内の受け入れ保護者（以下「里親」という）の協力を得て受け入れる「里親留学」、又は校区内に児童の保護者（以下「実親」という）と同伴で居住できる「家族留学」を実施し、世界自然遺産の豊かな環境の中で校区児童と留学児童との相関により教育効果の向上と振興を期し、併せて校区の活性化と発展を図ることを目的とする。

## 2 募集基準

この制度により受け入れる児童及び実親は次のとおりとし、永田小学校かめんこ留学制度実施委員会（以下「実施委員会」という）が面談の上、決定する。

- ① 里親留学＝小学校3年～6年生までの児童。家族留学＝小学校1年～6年生までの児童。
- ② 地域の環境を理解し、就学を希望する児童。
- ③ 豊かな思い出と創造により、第二のふるさとを求める児童。
- ④ 世界自然遺産・屋久島で、健やかで伸び伸びとした環境学習の体験を希望する児童。
- ⑤ 留学制度の趣旨を理解し、児童の留学目的のために、児童と同伴で永田に居住し、永田の住民として児童の健全育成に進んで協力する実親。

## 3 期 間

期間は、原則1年とする。（家族留学生で継続を希望する場合の期間は2年までとする）

## 4 契約事項

この制度に適合し、受け入れを決定された実親及び児童は、次の各項を実行するものとする。

- ① 児童（家族留学の場合は児童と実親）は校区内に住民登録をする。
- ② 健康保険証を持参する。
- ③ 里親留学の場合、実施委員会立会いの上で里親との契約を締結する。家族留学の場合は、実施委員会との契約を締結する。
- ④ 寝具その他生活用品は、原則として持参する。
- ⑤ 里親留学の場合、実親は里親と連携を密にし、相互の信頼関係に努める。

## 5 経 費

(1) 里親留学における委託料及び児童にかかる教育費等の経費は、次のとおりとする。

- ① 里親への委託料は、食費を含め月額70,000円とし、毎前月末日までに実施委員会が納入する。（年間12ヶ月）
- ② 前項の委託料は、実親負担を月額40,000円、町負担を月額30,000円として、それぞれ毎前月25日までに実施委員会に納入することとする。（年間12ヶ月）
- ③ 委託料の額は、物価その他を考慮して実施委員会が決定する。
- ④ 給食費及びPTA会費は、毎前月25日までに、実親が里親に納入することとし、里親から学校又はPTA会計へ納入することとする。
- ⑤ 学校補助教材費・医療費・学用品費・衣料品費・遊具類費・通信費・遠足費・旅行費・その他活動費及び小遣い等の経費は、実親の負担とする。

(2) 家族留学においては、児童にかかる教育費等の経費は、原則として実親の自己負担とする。但し、長子については、留学支援補助として月額30,000円が町から実施委員会を通して支給される。（年間12ヶ月） 二子以下については、月額10,000円が町から実施委員会を通して支給される。（年間12ヶ月）

## 6 里親留学における里親とその義務

里親留学の場合、里親の委嘱及びその義務は、次のとおりとする。

- ① この制度を理解し積極的に支援する意志のある家庭の中から、実施委員会が里親として委嘱する。

- ② 里親は、実親との連携を密にしながら児童を家庭的に養育し、健やかな成長に向かって努力するものとする。
- ③ 里親は、P T A会員となるものとする。
- ④ 里親は、児童の帰省等については、その都度実施委員会に連絡するものとする。
- ⑤ 里親は、都合により臨時里親の必要が生じたときは、実施委員会に連絡するものとする。

## 7 家族留学における実親の義務

家族留学の場合、実親の義務は、次のとおりである。

- ① 実親は、児童を養育するとともに、校区民と積極的にかかわりを持ち、連携を深めながら本校児童の健全育成に努める。
- ② 実親は、P T A会員及び校区民となるものとし、その責務を果たすものとする。

## 8 事故発生時の処置

- ① 里親留学の場合、児童に病気又は何らかの事故が発生したときは、次のとおりとする。
  - ① 里親は、実情に応じ適切な処置をとる。
  - ② 里親は、遅滞なく実親及び実施委員会に連絡し、指示を受ける。
  - ③ 必要に応じ、実施委員会が立会い又は協議して善処する。
- (2) 家族留学の場合、事故発生時の処置は、実親の責任において行う。

## 9 里親留学における帰省

学校の長期休業又は児童自身の特別の事情により長期欠席する場合は帰省するものとし、実家までの往來は実親若しくは実親の委任を受けた者が引率して行うものとする。  
但し、児童・実親・里親の話し合いによって滞在することができる。

## 10 解 約

- (1) 里親留学では、次の場合は実施委員会立会いの上で協議して解約することができる。
  - ① 児童の問題行動等により、指導監督が困難であると判断されたとき。
  - ② 児童が病気あるいは事故等により、長期間就学が困難であると判断されたとき。
  - ③ 委託料の未納あるいはその他の契約違反が生じたとき。
  - ④ 実親又は里親どちらかの家庭の事情等により解約希望が生じたとき。
- (2) 家族留学では、次の場合は実施委員会と協議して解約することができる。
  - ① 児童の問題行動等により、実親による指導で改善が困難であると判断されたとき。
  - ② 実親がP T A会員及び校区民としての責務を果たせず、学校やP T A、校区に多大な迷惑をかけたとき。

## 11 その他

この要綱に定めるものの外は、実親・里親・実施委員会が協議して善処解決を図るものとする。

附 則 この要綱は、平成25(2013)年5月28日から適用する。